

6 商工費

1 商工費 2 商工振興費

[担当：産業振興課] P. 277

2001 商工業振興助成に関する経費 24,688,635 円 (23,873,315 円)

[その他 1,045,000 円 一財 23,643,635 円]

* 特財内訳

[使用料：駐車場使用料 1,045,000 円]

○ 目的

市商工会や市内商店街への助成等を行うことにより、市の商工業の発展及び地元消費の拡大に寄与することを目的とする。

○ 内容

- ・市営駐車場用地借上料 971,630 円
用地所有者：茨城県厚生農業協同組合連合会(東1丁目地先取手協同病院跡地)
駐車場貸出可能台数 40 台
- ・商店街活性化事業補助金 1,490,000 円
補助率：事業費の1/2・限度額 200,000 円
9 団体(市内6商店会、東・西口イルミネーション、ソニックガーデン)
- ・商工会事業補助金 19,184,232 円
取手市商工会職員の人件費 16,873,200 円
産業振興 ICT 推進事業 2,311,032 円
- ・とりで産業まつり補助金(第38回) 2,000,000 円

期 日	令和元年 11 月 2 日(土)、3 日(日)
場 所	取手緑地運動公園
参加者	38,000 人

○ 効果

商工会や市内商店会へ助成することにより、商工会事業の安定化や市内商店会の活性化に寄与することができた。

[担当：産業振興課] P. 277

2002 買い物弱者支援事業に関する経費 2,000,000 円 (2,000,000 円)

[国・県 1,000,000 円 一財 1,000,000 円]

* 特財内訳

[県補：生活環境づくり支援事業補助金 1,000,000 円]

○ 目的

既存スーパーの撤退、地元商店街の衰退、市民の高齢化に伴う買い物弱者への買い物環境の改善を図るために、市内に移動販売車を巡回する。

○ 内容

買い物が困難な市民に対して移動販売車にて生鮮三品等の買い物の場を提供する事業者に対し、取手市買い物弱者支援事業補助金交付要綱に基づき、人件費の一部(販売補助員)

を支援する。 補助額 2,000,000 円

○ 効果

買い物環境の向上と販売補助員の配置誘導をすることにより、高齢者への買い物介助や見守り等、きめ細やかな対応に繋がる効果があった。

販売力所数：19 地区 24 地点 利用者数：12,637 人

[担当：産業振興課] P. 277

2101 中小企業事業資金融資あっ旋事業に要する経費 86,078,624 円 (95,426,403 円)

[その他 33,003,300 円 一財 53,075,324 円]

* 特財内訳

[諸収入：自治資金融資貸付金元利収入 33,003,300 円]

○ 目的

市内の中小企業者に対する事業資金の保証を強力に斡旋し、市内中小企業者の金融の円滑化を図ることにより、企業の安定と繁栄に寄与することを目的としている。

○ 内容

取手市中小企業事業資金融資斡旋制度

茨城県信用保証協会の基本財産である出捐金の拠出を行うとともに、市内金融機関に1年間の預託を行うことにより、融資実行利率を低利に抑え、制度の基盤を強固なものにした。また、制度利用者に対し保証料を補助することにより制度利用者の負担軽減を図った。

・制度の内容

内 容	自 治 金 融			振 興 金 融		
	設 備	1,000 万円	返済 7 年	設 備	2,000 万円	返済 7 年
	運 転	1,000 万円	返済 5 年	運 転	2,000 万円	返済 5 年
保証料	年 0.45%~1.90%					

・保証料補助の内訳

制 度	備 考
自治金融	新規 128 件、過年度 324 件
振興金融	新規 70 件、過年度 145 件
自治金融・振興金融保証債務残高	4,227,951,000 円 (944 件)

・その他(本制度に伴う経費)

制 度	金 額	備 考
自治金融預託金	32,000,000 円	市内金融機関 7 行 14 支店に預託 (令和元年 10 月 17 日~令和 2 年 10 月 17 日)
損失補償寄託金	276,000 円	茨城県信用保証協会に寄託

○ 効果

中小企業者が金融機関から事業資金の融資を受ける際、市が公的な保証人となることにより、借入が容易になり、中小企業の融資が円滑に実行され、経営の安定化が図られた。

[担当：産業振興課] P. 277

2701 中小企業育成事業に要する経費 1,545,010 円 (1,700,680 円)

[一財 1,545,010 円]

(1) 産業振興チャレンジ支援事業補助金

○ 目的

市内で起業をした事業者に対し、起業する際に必要な初期費用を補助することにより、市内での起業を促進し、市内経済の活性化を図る。

○ 内容

一般社団法人とりで起業家支援ネットワーク（Match とりで）から起業家カードを発行された起業者に対して、申請に基づき、10,000 円を限度に補助金を交付する。なお、補助金の対象となる経費は、市内で提供されたサービスや商品のみとする。

産業振興チャレンジ支援事業補助金 利用者 8 名 80,000 円

○ 効果

補助金を交付することにより、起業の促進及び市内経済の活性化が図られた。

(2) 市民事業活動促進補助金

○ 目的

事業者に対し、インキュベーションオフィス等の利用料金を補助することにより、市民の事業活動を促進し市内経済の活性化を図る。

○ 内容

インキュベーションオフィス等を利用して事業活動を行う事業者に対し、その一月当たりの利用料金（光熱水費、通信費その他事業者が実費として支払うもの及びオプションサービスにかかる費用をのぞく。）が 10,000 円以上の場合、100 分の 50 に相当する経費を最長で連続 12 か月間補助する。

市民事業活動促進補助金 利用者 9 名 963,710 円

○ 効果

補助金を交付することにより、市民の事業活動を支援することができ、市内経済の活性化を図ることができた。

(3) 市内特産品販路開拓促進事業 484,800 円

○ 目的

取手市の農産品を含む特産品を都内等で販売、出展する機会を設けることで、取手市の PR 機会の増大と、販路拡大による市内経済の活性化を図る。

○ 内容

農商工連携による市町村と千代田区の交流促進と会員相互の連携を図ることを目的に活動している任意団体「ちよだフードバレーネットワーク」（事務局は特定非営利活動法人農商工連携サポートセンター）の会員として、各種サービスを活用する。

- ・ちよだフードバレーネットワークよりキッチンカー（移動販売車）を借用し、市内事業者無料で貸し出した（9 月 5 日～10 月 7 日）。賃借料 54,000 円
- ・常設アンテナショップ「ちよだいちば」（千代田区）の売り場（棚）で、取手市特産品を販売（12 月・3 月）。出店料 42,000 円
- ・スーパーマーケットを中心とする流通業界に最新情報を発信する商談展示会である「スーパーマーケットトレードショー」（2 月 12 日～14 日幕張メッセ）にブースを構え、市内 2 事業者が出展。出展料 388,800 円

○ 効果

当市特産品を市外で発信していく PR 事業を行い、市内業者の新たな事業展開のきっかけを創出し、販路拡大の支援をすることができた。

[担当：産業振興課] P. 277

2801 産業振興に要する経費 98,224,419円 (36,014,713円)

[国・県 4,674,000円 一財 93,550,419円]

* 特財内訳

[国補：地方創生推進交付金 4,674,000円]

(1) 産業活動支援条例に基づく奨励金

○ 目的

企業活動の支援を行い市内経済の拡大を図るため、市内に事業所を新設又は増設する企業に対し、その設備投資によって増加する固定資産税及び都市計画税相当額（初年度10/10、2年目以降5年目まで1/2）を施設奨励金として交付する。また、市内に住所を有する従業員の新規雇用1人に対し10万円の雇用促進奨励金（初年度のみ）を交付する。

○ 内容

- ・ 産業活動支援施設奨励金 施設奨励金6社9件 82,883,000円
固定資産税等相当額（土地・家屋・償却資産）新規2件、継続7件
- ・ 産業活動支援雇用促進奨励金 新規雇用に対する奨励金 5,500,000円
新規雇用者2件55名分

○ 効果

市内に事業所を新設又は増設する企業に対し、施設奨励金や雇用促進奨励金を交付することで、産業活動の活性化及び雇用機会の創出の支援をすることができた。

(2) 創業支援等事業

○ 目的

産業競争力強化法の施行に伴い、市は創業支援等事業計画を作成し、創業支援等事業者（一般社団法人とりで起業家支援ネットワーク）と連携して、各種創業支援等事業に取り組んでいる。起業でまちを元気にする、をキーワードに起業家タウン取手の実現を目指す。

○ 内容

創業支援事業補助金 9,348,000円

○ 効果

平成29年度より龍ヶ崎市と連携して創業支援等事業に取り組んでいる。創業スクール、ビジネスプランコンテスト、起業相談、社長塾等の事業について、両市で連携して開催することで利便性や効率性が向上した。

[担当：産業振興課] P. 279

2901 空き店舗活用事業に要する経費 1,750,000円 (2,150,000円)

[一財 1,750,000円]

○ 目的

市内空き店舗の有効利用、まちの賑わいづくり推進のため、市内空き店舗に新規出店する者に対し補助金を交付することにより、買い物しやすい環境づくり及び活性化を図る。

○ 内容

- ・ 改装費補助 事業費の1/2補助（上限100万円）
- ・ 家賃補助 家賃月額額の1/2補助（月額補助の上限5万円）補助期間12か月

○ 効果

補助金を交付することにより、市内空き店舗への新規出店の促進ができ、まちの賑わい

推進が図れた。

改装費補助 1件 1,000,000円 家賃補助 3件 750,000円

[担当：産業振興課] P. 279

3101 プレミアム付商品券事業に要する経費 230,001,549円(0円)

〈7,232,000円〉※〈 〉は、うち30年度繰越分

[国・県 71,204,200円〈7,232,000円〉 その他 157,688,800円 一財 1,108,549円]

* 特財内訳

[国補：プレミアム付商品券事務費補助金 〈7,232,000円〉]

[国補：プレミアム付商品券事務費補助金 24,550,000円]

[国補：プレミアム付商品券事業費補助金 39,422,200円]

[諸収入：プレミアム付商品券販売代金 157,688,800円]

○ 目的

プレミアム付商品券を発行することにより、消費税の引き上げが家計に与える影響を緩和するとともに、地域における消費の下支えを図る。

○ 内容

(1) 商品券購入対象者

- ・住民税非課税者
- ・子育て世帯(3歳未満児)

(2) 制度概要

- ・購入限度額 対象者一人あたり額面2万5千円の商品券を2万円で販売
 - ・商品券使用期間 令和元年10月1日から令和2年2月29日まで
- ※事業実施に必要な経費は、全額、国の補助

○ 効果

収入の少ないかた及び子育て世帯への経済的支援とともに市内での消費を喚起・下支えすることができた。

商品券使用額 197,111,000円

商品券販売額 158,108,000円(39,527冊)

1 商工費 3 労働対策費

[担当：産業振興課] P. 281

2001 労働対策に関する経費 24,282,939円(21,557,895円)

[その他 19,531,875円 一財 4,751,064円]

* 特財内訳

[諸収入：雇用保険料本人負担分 5,475円]

[諸収入：生涯現役促進地域連携事業推進協議会貸付金元利収入 19,526,400円]

(1) 取手市地域職業相談室の運営に関する経費

○ 目的

地域職業相談室(取手市ふるさとハローワーク)において、国と市が連携しながら、職業相談・職業紹介サービスを提供し、安定した雇用機会の確保、就職の促進を図る。

○ 内容

業務時間	毎週月曜日～金曜日 午前10時～午後5時		
主な業務	職業相談、職業紹介と求人情報の提供		
相談員	国 2名	受付事務	市 2名

需用費（光熱水費） 501,326円

使用料及び賃借料 2,276,310円

○ 効果

市内に地域職業相談室を設置したことで、身近で職業相談、職業紹介サービスを受けることが出来るようになり、利便性の向上と就職の促進が図れた。

令和元年度年間利用者数 8,095人

(2)生涯現役促進地域連携事業推進協議会貸付金 19,526,400円

○ 目的

地域の実情に応じた高年齢者(55歳以上)の多様な就業機会を確保するために、厚生労働省職業安定局委託事業である「生涯現役促進地域連携事業」を受託する、取手市生涯現役促進地域連携事業推進協議会に対し、事業実施に必要な事業費の貸付けを行った。

○ 内容

- ・総合相談事業（コンシェルジュ事業）

とりで生涯現役ネット相談来所者数 493人

- ・高年齢者雇用新規開拓・啓発事業

202社訪問 新規高年齢者求人 79件

- ・シンポジウム事業

令和2年2月18日(火)

『生涯現役社会の実現に向けたシンポジウム ～おたがい様の地域づくり～』

第1部 基調講演

講師：森永 卓郎氏 演題：人生100年時代を生き抜く術はこれだ！

第2部 パネルディスカッション

テーマ：『おたがい様の地域づくり』 パネリスト：各界・団体代表者等

第3部 関連団体紹介・相談コーナー

社会福祉協議会やシルバー人材センターをはじめとする17団体による紹介・相談コーナーの実施

- ・セミナー・スクール事業

セミナー・スクール名	期日・会場	講師	参加者
はたらく前のウォーキング	令和元年 5月29日(水) ウェルネスプラザ	金子 正晃氏 (とりで生涯現役ネット事業支援員)	16人
自然と生活を楽しむ～ガーデニングと野菜づくり～	令和元年 6月26日(水) ウェルネスプラザ	櫻井 徳郎氏 (カルチャーセンター代表)	21人
自宅ではじめる仕事さがし	令和元年 7月11日(木) ウェルネスプラザ	ハローワーク龍ヶ崎職業相談員	16人

地域デビューのすすめ～新しい人生100年時代を楽しむ～	令和元年 7月31日(水) ウェルネスプラザ	菅原 育子氏 (東京大学高齢社会総合研究機構特任講師)	32人
人生を楽しむシニアの起業セミナー	令和元年 8月5日(月) ウェルネスプラザ	伊藤 予應氏 (日本ビジネス)	20人
はじめてのボランティア	令和元年 9月11日(水) ウェルネスプラザ	ボランティア支援センター職員	14人
人生100年時代・令和の歩き方～新たなスタートを切るための整理術～	令和元年 10月2日(水) ウェルネスプラザ	徳山 弘美氏 (生前整理アドバイザー 一上級認定指導員)	27人
シニアのための介護セミナー	令和元年 10月9日(水) ウェルネスプラザ	ニチイ学館	20人
取手の農業を見てみよう！&いも掘り体験	令和元年 10月18日(金) シモタファーム・いがつぺ農家塾ほか	市内農園管理者・農政課	17人
福祉のお仕事基礎セミナー	令和元年 10月29日(火) ウェルネスプラザ	高齢福祉課	18人
リーダーバンクに登録しよう！	令和元年 11月7日(木) ウェルネスプラザ	スポーツ生涯学習課	12人
コミュニケーション能力を磨く！	令和元年 11月13日(水) ウェルネスプラザ	日本おもてなし推進協議会(さくらコミュニケーションズ)	14人
今さら聞けない年金・健保のいろは	令和元年 12月6日(金) ウェルネスプラザ	国保年金課	14人
保険とお金セミナー	令和元年 12月11日(水) ウェルネスプラザ	ほけんの窓口	21人
シニアの雇用を考える	令和2年 1月17日(金) 商工会館	ハローワーク龍ヶ崎職業相談員・取手市商工会経営指導員	10人
この春から始めるやさい作り	令和2年 1月28日(火) ウェルネスプラザ	滝本 健雄氏 (元茨城県野菜専門技術指導員)	29人
情報収集力を高めるセミナー	令和元年 6月18日(火)、 7月3日(水)、 7月12日(金)、 9月3日(火) 10月7日(月)	とりで生涯現役ネット事業統括員・事業推進員	122人

	計5回 ウェルネスプラザ		
講師育成セミナー	令和元年 12月16日(月)、 12月18日(水)、 12月20日(金)、 12月23日(月) 計4回 ウェルネスプラザ	日本おもてなし推進協 議会(さくらコミュニ ケーションズ) 高木 圭二郎氏 (フリーアナウンサー)	92人
《新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止したセミナー・スクール事業》			
からだ測定会 in 取手健康まつり	令和2年 2月22日(土) ウェルネスプラザ	(株)リクルート	---
元気なおとなの健康セミナー	令和2年 3月12日(木) ウェルネスプラザ	京泉 裕子氏 (笑いヨガティーチャー)	---
対人関係の悩みを解決しよう!～「傾聴のススメ」セミナー～	令和2年 3月25日(水) ウェルネスプラザ	日本カウンセラー協会	---

○ 効果

貸付けを実施することで、取手市生涯現役促進地域連携事業推進協議会において、地域の実情に応じた高年齢者(55歳以上)の多様な就業機会の確保に向けた事業を展開することができた。

[担当：産業振興課] P. 281

2002 勤労青少年体育センター管理運営に関する経費 1,100,132円(1,046,570円)

[その他 280,150円 一財 819,982円]

* 特財内訳

[使用料：施設使用料 280,150円]

○ 目的

勤労青少年体育センターの適切な維持管理を行い、取手地域の勤労青少年等の健康増進・体力向上・地域社会の福祉増進を図る。

○ 内容

- ・ 需用費(消耗品費、印刷製本費、光熱水費、修繕料) 628,317円
- ・ 役務費(火災保険料) 9,815円
- ・ 委託料(体育センター清掃委託料) 462,000円

○ 効果

施設の適切な維持管理を行うことにより、利用者の健康増進・体力向上・地域活動を行うための場として利用環境の充実に寄与した。

令和元年度利用者数 6,784人

1 商工費 4 働く婦人の家・勤労青少年ホーム管理費

[担当：産業振興課] P. 283

2001 働く婦人の家・勤労青少年ホーム管理運営に要する経費 11,268,030 円
(13,324,301 円)

[その他 1,066,995 円 一財 10,201,035 円]

* 特財内訳

[使用料：施設使用料 1,037,310 円]

[手数料：コピー手数料 17,220 円]

[諸収入：印刷機使用料 12,465 円]

○ 目的

利用者が余暇を使い趣味の活動や学習活動をするために運営し、施設を良好な状態に保つために維持管理を行い、利用環境の充実に寄与する。

○ 内容

働く婦人の家の適切な維持管理を行う。主な経費は報酬、旅費、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料、負担金、補助及び交付金である。

- ・報酬 2,986,834 円 (一般職非常勤報酬)
- ・旅費 53,430 円 (費用弁償)
- ・需用費 3,958,132 円 (消耗品、光熱水費、修繕料ほか)
- ・役務費 128,476 円 (通信運搬費、手数料ほか)
- ・委託料 3,313,764 円 (清掃管理委託、夜間運営管理業務委託ほか)
- ・使用料及び賃借料 326,194 円 (コピー使用料ほか)
- ・負担金、補助及び交付金 489,200 円 (下水道受益者負担金)

○ 効果

施設の適切な維持管理を行うことにより、利用者の趣味の活動や学習活動を行うための場として、利用環境の充実に寄与した。令和元年度利用者数 38,434 人

[担当：産業振興課] P. 285

2101 働く婦人の家・勤労青少年ホーム活動に要する経費 265,458 円(265,111 円)

[その他 79,020 円 一財 186,438 円]

* 特財内訳

[諸収入：講座参加個人負担金 79,020 円]

○ 目的

働く婦人及び勤労青少年の福祉の促進と健全な育成を図る。

○ 内容

簿記3級講座 延回数 20 回 延参加人数 153 人

○ 効果

働く婦人及び勤労青少年に対する教養・趣味・レクリエーション・余暇等の活用の機会を提供し、地域住民との交流を深め、健全な育成と福祉の増進を図ることができた。

1 商工費 5 消費生活対策費

[担当：産業振興課] P. 285

2001 消費生活対策に要する経費 7,385,957 円(9,033,116 円)

[国・県 949,000 円 その他 14,580 円 一財 6,422,377 円]

＊ 特財内訳

[県補：消費者行政推進事業費補助金 949,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 14,580 円]

○ 目的

消費者の権利の尊重と自立のための支援及び苦情や被害を未然に防止するための情報を提供し、市民の消費生活の安全を確保する。

○ 内容

主な経費は、消費生活相談員 3 名の人件費（報酬、共済費）、相談員及び消費者行政職員のスキルアップのための研修費。また、消費者被害防止のための啓発事業に係る消費者セミナー報償費、出前講座や街頭キャンペーン用啓発品としての消耗品費、消費生活展開催委託料等である。

・消費生活相談員報酬	4,860,000 円
・一般非常勤職員報酬	219,385 円
・共済費	828,162 円
・報償費	170,800 円
・研修旅費	56,960 円
・需用費(啓発用品等)	418,724 円
・消費生活展実施委託料	650,000 円

(1) 消費生活相談業務

市民（消費者）と事業者との間に生じた商品やサービスに関する相談、助言、苦情、あっせん交渉等消費者被害の救済及び未然防止を図った。

業務日	月曜日～金曜日
相談時間	午前 9 時～午後 4 時
相談員数	3 人
相談件数	1,241 (H30:1,618)

(2) 消費生活展

市民を対象に消費者問題を多面的かつ具体的に取り上げ、参加者に対し問題提起や啓発を行うことで消費者力の向上を図った。

(消費生活展)

開催日	令和元年 10 月 18 日(金)、19 日(土)
場 所	福祉交流センター 多目的ホール
来場者数	500 人 (H30:526 人)

(パネル展示)

開催日	令和元年 7 月 3 日(水)～7 月 9 日(火)
場 所	取手駅市民ギャラリー

(3) 消費者啓発事業

市民が消費生活に必要な知識を習得する機会を提供し、消費者被害の未然防止を図った。

(消費者セミナー第 1 回目)

開催日	令和元年 9 月 26 日(木)
場 所	ウェルネスプラザ 多目的ホール

事業概要	落語で楽しく学ぼう 講師：落語家 立川平林氏
来場者数	240 人

(消費者セミナー第2回目)

開催日	令和2年2月4日(火)
場 所	福祉交流センター 多目的ホール
事業概要	知っておきたい！キャッシュレスの基礎知識 講師：公益社団法人全国消費生活相談員協会 相談員 遠山尚江氏
来場者数	100 人

(出前講座)

実施回数	18 回 (H30:23 回)
場 所	集会所・公民館・小学校学童クラブ室等
テーマ	悪質商法などの最近の事例と対処法について
対 象	高齢者クラブ・市内自治会・小学生等
参加者数	550 人 (H30:852 人)

○ 効果

市民の消費生活に関する相談（苦情、問合せ）では、相談者が自ら解決できるよう適切なアドバイスをしたり、様々な情報を提供することで、消費者被害の未然防止に尽力した。また、消費生活展、消費者セミナー、出前講座を通じて、消費者被害の現状や被害に遭わないための対処法等の情報を発信し啓発を行うことで、市民の消費生活の安全と保護に貢献できた。

1 商工費 6 観光費

[担当：産業振興課] P. 287

2001 観光事業に関する経費 32,444,334 円 (34,289,000 円)

[一財 32,444,334 円]

○ 目的

本市の観光事業の振興を図るため、市観光協会の各事業に対し助成を行い、郷土愛の高揚に貢献する。

○ 内容

- (1) 小堀古利根周辺清掃管理委託料 360,000 円
- (2) 漫遊いばらき観光キャンペーン推進協議会負担金 526,000 円
(茨城県国際観光テーマ地区推進協議会負担金 70,000 円含む)
- (3) 市観光協会補助金 31,555,360 円

観光協会主催事業

行事名	期日	場所	参加者
いばらきよいとこプラン春 取手の魅力を体験！キリンビ ール&日本ファブテック取手 工場見学ツアー	平成31年 4月14日(日)	市内各所	19人

第 66 回とりで利根川大花火	令和元年 8月10日(土)	取手緑地運動公園	約 100,000 人
いばらきよいとこプラン秋① 競輪場の熱い戦いを応援しようツアー	令和元年 9月21日(土)	市内各所	25 人
いばらきよいとこプラン秋② 東京藝術大学祭「アートパス」 & キリンビール取手工場見学ツアー	令和元年 12月1日(日)	市内各所	32 人
第 53 回とりで利根川 たこあげ大会	令和 2 年 1月11日(土)	取手緑地運動公園	3,000 人
第 50 回とりで利根川 どんどまつり	令和 2 年 1月11日(土)	取手緑地運動公園	3,000 人
第 7 回とりで観光フォト コンテスト	令和元年 11月1日(金) ～令和 2 年 3月10日(火)	※新型コロナウイルス感染症の影響 により展示延期	-----
取手駅前にぎわいフェスタ	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止		
第 16 回桜ライトアップ事業	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止		

観光協会補助事業

行事名	期日	場所	参加者
第 42 回こども天国	平成 31 年 4月29日(月)	取手緑地運動公園	約 25,000 人
とりで夏まつり	令和元年 8月1日(木) ～8月23日(金)	市内各所	-----
第 44 回とりで利根川 灯ろう流し	令和元年 8月24日(土)	利根川河畔	約 2,500 人
取手ひなまつり	令和 2 年 2月20日(木) ～28日(金) ※2月29日(土) ～3月3日(火) は新型コロナウイルス感染症の 影響により中止	市民会館、商工会 市内各商店	約 5,000 人

常総地方観光促進協議会事業

構成組織：取手市・つくばみらい市・常総市・関東鉄道(株)

行事名	期日	場所	参加者
いばらきよいとこプラン春	令和元年 5月25日(土)	常総地方各所	25 人

いばらきよいとこプラン秋	令和元年 11月24日(日)	常総地方各所	25人
観光案内アプリの普及促進 (ふらっと!294)	平成30年5月に開発した観光案内アプリ「ふらっと!294」の普及促進を図るため、首都圏在住在勤者をターゲットに各種イベントに参加。 ①令和元年10月15日(火)～10月16日(水) 日本橋プラザヒル南広場 ②令和2年1月23日(木)～1月25日(土) JR上野駅中央改札口前 ※「茨城産直市」に参加 〔その他〕 令和2年2月27日(木)からキャラクターラッピング列車運行開始。		

観光協会参加事業

行事名	期日	場所	参加者
常総千姫まつり	令和元年 5月19日(日)	常総市	約10,000人
キャノンオープンデー	令和元年 10月26日(土)	キャノン取手事業所	約1,600人
日本の凧の会全国大会	令和元年 10月27日(日)	取手緑地運動公園	約750人
南相馬市交流自治体フェア	令和元年 11月2日(土)、3日(日)	福島県南相馬市	約19,000人
サイクルアートフェスティバル	令和元年 11月17日(日)	取手競輪場	約14,000人

○ 効果

とりで利根川大花火や、たこあげ大会、どんどまつり等の恒例行事は、天候にも恵まれ多くの観光客が来場した。近年では観光情報誌「るるぶ取手」の配布や、都内の観光イベントへの積極的な参加等によるPR効果もあり、市民だけでなく首都圏周辺からの来場者も増加している。

その他、常総観光促進協議会によるバスツアー事業や観光促進アプリの普及活動等、茨城県南の広域連携による観光誘客促進を図ることができた。